

ニラそばと元気をお届け

—千寿荘での「そば・うどん」の提供—
 (鹿沼そば商組合)



12月3日、養護老人ホーム千寿荘(日吉町)で、「鹿沼そば商組合」が、施設利用者へそばやうどんの提供を行いました。

この取り組みは、外出する機会の少ない老人ホーム等の利用者にそばを味わってもらおうと、同組合が毎年行っているもの。昼食の時間に合わせ、鹿沼名物の「ニラそば」とかき揚げ天ぷらが振る舞われ、そばが食べられない人にはうどんが用意されました。

利用者たちは黙々とそばをすすり、中にはおかわりを希望する人もいるなど、そば店の本格的な味わいを堪能していました。

長年、地域活動に携わって

—奈良部自治会長が総務大臣表彰を受賞—

栄町1丁目自治会長の奈良部^{みのる}さんが「自治会等地縁による団体功労者」の総務大臣表彰を受賞しました。奈良部さんは、15年にわたり自治会長を務めているほか、市自治会連合会会長として、災害義援金の募集などの地域活動に精力的に携わってきました。

今年度は、新型コロナウイルス感染症予防の観点から表彰式典は実施されなかったため、12月4日に佐藤市長が代わって表彰状を伝達しました。



思いを乗せてつなぐたすき

—鹿沼市スポーツ少年団駅伝交流会—
 (市スポーツ少年団)



12月13日、ヤオハンいちごパーク(鹿沼運動公園)で「鹿沼市スポーツ少年団駅伝交流会」が開催されました。

今年度はさまざまな大会等が中止となるなど、新型コロナウイルス感染症により大きな影響を受けたスポーツ少年団の子どもたち。そんな子どもたちに少しでも思い出をつくってもらえるよう、コロナ対策を行い、2年ぶりに実施されました。

スタート・ゴールの会場となった野球場では、多くのチームメイトや保護者が観戦。大会さながらの全力の応援が走者に向けられていました。

みんなとダンスで国体・障スポPR

—いちご^{いちえ}会ダンスキャラバン—

(いちご会とちぎ国体・とちぎ大会実行委員会事務局)



「いちご会とちぎ国体・いちご会とちぎ大会」のイメージソング「いちご会」。県では、その普及のため、県内の幼稚園・保育園・小学校・中学校等を巡り、曲に合わせて子どもたちとダンスを踊る「いちご会ダンスキャラバン」を行っています。

12月15日には、まなぶ保育園(上奈良部町)に、とちまるくんやベリーちゃんがスタッフと共にキャラバン隊として訪問。園児たちは、青空の下、体を大きく動かしながら、キャラクターたちとの「いちご会ダンス」を楽しみました。

和牛ステーキで心も体も元気に!

—市内小中学校での「かめま和牛ステーキ給食」の提供—

市では、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける「かめま和牛」の生産者を支援するため、昨年9月から今年3月までの間に計4回、市内小中学校において「かめま和牛給食」を実施しています。今回、コロナ禍の中にある子どもたちを元気づけようと、12月以降、各学校1回ずつステーキを提供することになりました。

12月17日には、市立菊沢西小学校で「かめま和牛ステーキ給食」を実施し、佐藤市長やかめま和牛振興会の鷹見会長なども同席。子どもたちはステーキにかぶりつき、かめま和牛を堪能していました。



ナナジェラートとなしが認定

—かめまブランド認定式—

12月23日に、「かめまブランド認定式」が開催され、上都賀農業協同組合梨部の「なし」が更新、仲まち家合同会社(キッチン七)の「ナナジェラート」が新規認定されました。

「かめまブランド」は、市内の優れた商品等を認定し、本市の観光振興を図ることを目的とした制度です。

今回新たに加わったナナジェラートは、「とちおとめ」や「板荷茶」等を使用した本格ジェラートで、鹿沼産素材への愛情や、将来性が見込めることが評価されました。

